

一橋大学・東京医科歯科大学共同セミナー
「日本の医療を考える」

今世紀の我が国は社会の高齢化という重い課題を抱えています。高齢化とともに増加し続ける社会保障費は財政の圧迫要因となってきました。「自然増」として国の社会保障関係費は毎年1兆円規模で増加しています。この問題に対して政府は「社会保障と税の一体改革」による消費税の増税と合わせ、医療提供の効率化・重点化を掲げていました。

一橋大学と東京医科歯科大学は四大学連合の一環として講義の連携を進めてきました。経済学・医学双方の知見を学部生・院生に提供するものです。これを更に発展させ、我が国の医療の現在と将来について複合的に考え、議論する機会として2013年10月に「社会保障制度改革の概要と課題」をテーマにした合同セミナーを実施しました。その第2弾として下記の日時で「医療制度の持続性」をテーマに講演とパネル討論を行います。

日 時 2014年3月4日(火) 18:30～21:00

場 所 一橋講堂2F会議室202&203

〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター内

講 演 18:30～19:30

講 師：財務省主計局厚生労働係主査

テーマ：「日本の医療は持続可能なのか？」

パネル討論 19:30～20:30

司会：佐藤主光（一橋大学）

パネリスト：講師・東京医科歯科教員

参加者との質疑応答 20:30～21:00

企画：一橋大学経済学研究科、国際・公共政策大学院

責任：佐藤主光（もとひろ） 一橋大学経済学研究科教授、国際・公共政策大学院院長

スポンサーシップ：平成25年度一橋大学戦略推進経費

参加：無料・申込み不要

問合せ：pep@ipp.hit-u.ac.jp IPP 公共経済プログラム